

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	介護職員の身体的負担を軽減する福祉用具を用いた介護技術の検討 —スライディングシートに着目して—				
研究組織	代 表 者	所属・職名	短期大学部・助教	氏名	大石 桂子
	研究分担者	所属・職名	短期大学部・准教授	氏名	木林 身江子
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	短期大学部・助教	氏名	大石 桂子

講演題目
介護職員の身体的負担を軽減する福祉用具を用いた介護技術の検討 —スライディングシートに着目して—
研究の目的、成果及び今後の展望
【目的】 福祉用具の一つであるスライディングシートは、介護者と利用者の心身の負担軽減等を目的として、主に移乗や移動の介助時に使用されている。しかし、スライディングシートを適切に使用するためには、シートの敷き方や順番などの手順も重要になるが、それらの詳細を掲載している教材は多くはなく、介護現場への福祉用具の導入や用具を活用したケアは十分に浸透されていない。そこで本研究では、スライディングシートを用いた介護技術方法について検討し、介護教育に活用できる教材を作成することを目的とした。また、スライディングシートは主に移乗・移動に用いる福祉用具であるが、衣服の更衣やリハビリなどにも活用できる可能性があり、その方法も検討した。 【成果】 移乗や移動、衣服の更衣におけるスライディングシートの活用方法について、介護現場で実際にスライディングシートを使用して介助を実践している講師を招き、使用方法等について研究会やディスカッションを実施した。また、スライディングシートを用いた衣服の着脱をテーマにした研修への参加や介護現場での聞き取り（スライディングシートの活用実態、課題、今後の方向性等）などを実施した。介護現場においては、個々の介護職員の技術の習得度や物品の管理方法による使用頻度の低下などの課題があった。また、スライディングシートを用いた衣服の更衣は、研修等でも学ぶ機会はないこと、爪に疾患がある方や重ね着をする方へのスライディングシートの活用は現場で実践してみたいという意見があった。これらのディスカッションや聞き取りを参考に、検討する実践場面を検討した。その結果、「車いすやリクライニング車いす上での座り直しや姿勢保持」・「移乗」・「靴の着脱」・「弾性ストッキングや靴下の着脱」・「カーディガン等の着脱」における介助の手順書を作成した。 【今後の展望】 スライディングシートを用いた手順書を作成したが、文字からではわかりにくい点があることが課題となった。写真を用いても、スライディングシートの重なりや敷き込み方法などは、静止画では伝わりづらいため、広く汎用できる教材にするためには、動画を用いた教材を作成する必要がある。引き続き、手順書以外の教材の検討および実践場面の検討、教授方法についての検討を進める予定である。